



第10号

パンダ通信

2010年1月 30日発行

発行・問い合わせ先

特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

名古屋市東区泉 1-13-34 名建協 2 階

TEL 052-253-7550 FAX 052-253-7552

中国・四川大地震パンダタオールプロジェクト

2008年5月12日、中国・四川省をM8級の地震が襲いました。死者・行方不明者8万人以上、数百万人が避難生活を続ける大災害に対し、私たちは「忘れない、思いをはせる、気持ちを届ける」を合言葉に日本からの支援策を探ってきました。そこで生まれたのが「パンダタオール」です。見た目はかわいくとも、被災地と私たちをつなぐメッセンジャー。当通信は、パンダタオールをめぐる活動や被災地の状況をお伝えしながら、復興支援への協力を呼び掛けます。

「NHK番組から見た四川省の今」

2010年1月17日、阪神・淡路大震災から15年を迎えるにあたり、多くの新聞記事やテレビ番組で震災が取りあげられました。その中で、NHK・BS特集『わたしたちはそばにいる～神戸発・災害ボランティア 四川に挑む～』は、このパンダタオールプロジェクトとも関係の深い「CODE海外災害援助市民センター」の吉橋雅道さんを追ったドキュメンタリーでした。



吉橋さんは、四川大地震の発生直後から現地入りし、人口700人の山村・光明村などの復興を支援しています。われわれRSYスタッフや名古屋のボランティアも光明村を何度か訪れ、昨年10月のお祭りに参加したのは前回のパンダ通信でご報告した通りです。実はそのとき、NHKのスタッフが取材に来ており、この番組のために祭りの映像を撮っていることを聞かされていました。番組では、そのときの様子も放映されましたが、NHKは祭りの後も吉橋さんと光明村の取材を続けていたのです。

地震で被害を受けた家の再建で悩んでいた村の女性が、吉橋さんの誘いでお祭りに参加したところ、その後自分達でなんとかやっていかなければと、気持ちを新たにカーテン屋の仕事を始めたそうです。このような動きは、村の他の人々にも広がっていきました。村の人たちは自分たちはで生計を立てていくため、村の自然を生かして何かできないかと吉橋さんに相談するようになったそうです。吉橋さんが大切にしている「被災者が自分の力で街を再建していけるような仕組み」が少しずつできていることがわかりました。

吉橋さんは、以前から村のみんなが集うことができる「総合活動センター」を日本の支援で建てる計画を提案していました。センターには診療所を併設させ、農村の医療問題の解決の一つのきっかけになればと話していました。10月の訪問時は、2010年3月完成予定という話で、村の伝統的な木造構法をとり入れた完成予想図を見せてくださいました。

しかし、今回の番組では、中国政府が海外の支援を入れず、独自にセンターをつくる方針になったことが明らかにされました。みんなで作って行こうとしていた矢先の出来事で、吉橋さんは「こんなどんでん返し、…」と落胆していました。しかし、村の人たちは、吉橋さんを責めることなく、みんなで一緒に今までやってきたのだからとあたたかい言葉をかけていました。数日後、中国政府から、「光明村をモデルとして、他の地域でもコミュニティーセンターを作っていこうと思います」という連絡が入り、吉橋さんも少し救われたように見えました。パンダタオールプロジェクトとして関わっている私たちとして、今後を見守っていきたいと思っています。

活動報告

日付	内容	場所/主催
(ボランティアDAY) 2009年/11月4日、12月19日、 12月22日 2010年/1月9日、1月25日	パンダタオル手づくり教室	RSY事務所/RSY
(イベント) 1月16日	防災&ボランティアフォーラム2010	参加形態:ブース出展

「愛知・名古屋 防災&ボランティアフォーラム2010にブース出展！！」



説明を熱心に聞いて作っていました

2010年1月16日(土)、アスナル金山にて「愛知・名古屋 防災&ボランティアフォーラム2010」が開催されました。この催しは、防災について身近に感じてもらうことを目的として行われたものです。当日は3人のボランティアさんと、パンダタオル手作り教室を行いました。ブースでは、阪神・淡路大震災を振り返るパネルの展示、2008年5月12日の中国・四川大地震を受けて始まった「パン



かわいいパンダタオルが完成

ダタオルプロジェクト」の紹介をしました。参加者の中には、「いつから活動しているの?」「私の気持ちも中国へ届けてね。」と活動に興味を示してくださる方もいらっしゃいました。この日パンダタオルは10個完成しました。3月の現地訪問の際に持って行く予定です。



「1月25日、ボランティアデーでDVD鑑賞」



昨年10月に参加した光明村の祭りのDVDが完成しました。ボランティアデーでは、パンダタオルづくりや事務所のお手伝いをして頂いたあと、完成したDVDを鑑賞しました。DVDは、土砂降りの雨の中の日中双方の人々の思いと、被災者の方々が祭りを機に元気で未来に歩いて行こうとする姿が記録され



ジャケットの表紙(DVD)ているものになっています。お祭りに参加したメンバーは思い出話に花が咲きました。

パソコンの画面をじっと見つめるみなさん

事務局より

2009年 10月1日より、事務所が移転しました！ [NPO 法人レスキューストックヤード事務所]
名古屋市東区泉 1-13-34 名建協 2階 地下鉄桜通線・名城線「久屋大通駅」より徒歩3分